

第 1 回みやぎ観光振興会議石巻圏域会議の主な意見とそこから導かれる論点と事項

令和 2 年 6 月 26 日
宮城県東部地方振興事務所

項目	主な意見	検討すべき論点等	事項
近郊観光 (マイクロツーリズム)	<ul style="list-style-type: none"> 地方を「快適な疎(そ)＝適疎」とのフレーズを利用し、観光戦略とする。 適疎という新しい概念を宮城発で、安全安心を提供。 適疎な地域でのサテライトオフィスなどはどうか。 新しいサービスの様式が必要。アクリル板や簾戸(すだ)の活用。 3密回避に対応した新しいサービスが求められる。 安全安心を活かし、その取組などを情報発信する。 安全安心を徹底していることを可視化する取組み。 観光スポットを一つ一つ洗い出すと共に、宿泊や日帰りなどに合わせたルート設定は必要。 旅行に行っても良いという雰囲気づくりや、小学校などに観光休暇を導入してはどうか。 「ワーケーション」の誘致の可能性。 終息後の旅行先は「知人・友人訪問」が最多。 観光の形が個人や家族に。ターゲットが変化している。 女川町は交流人口がないと成り立たない町 チャンスとしてマイクロツーリズムを進めたい。 	<p>今後見込まれる県内等近郊からの観光・宿泊需要に、如何に應えるか。</p> <p>圏域内及び他圏域間の流動化・リピーター化をどのような方策で推進していくか。</p> <p>安全安心を売りにして、地域ぐるみで圏域に人を呼び込む仕組みをどのような方策で構築していくか。</p>	<p>適疎の普及</p> <p>安全安心の取組</p> <p>魅力再発見</p> <p>休暇分散化の促進</p> <p>テレワーク等整備</p> <p>インセンティブ付与等</p>
二次交通 (アクセス・トランスポートーション)	<ul style="list-style-type: none"> 野蒜駅から宮戸までの二次交通がない。 消費回復には来訪者の滞在時間をいかに伸ばすかが大事 二次交通には地域の知恵が重要。皆さんと一体でPR。 サイクルツーリズムなどの自転車利用者のため、地域の一人一人が車の運転に気をつけている。 	<p>二次交通の利便性を図り、如何に周辺部観光地へも観光客を呼込むか。</p>	<p>バス・タクシーへの支援等</p> <p>レンタルサイクル施設の整備等</p>

		<p>鉄道・車利用者に対し、主要JR駅経由での周遊観光をどのように構築していくか。</p>	
<p>情報発信 (デジタル・リアル・インフォメーション)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs 未来都市やスポーツ健康都市と紐付けした体験など ・ワカメ収穫体験，島巡りなど ・スポーツ健康都市や防災・観光教育施設などの活用。 ・インバウンドなどにおいて，観光から体験へ。震災コンテンツも前向きに生かすべき。 ・地域の観光スポットなどをつなげ，ターゲットごとにコースを設け，その中で交通や宿泊施設を利用してもらう。 ・ハワイのオプションツアーのように沢山，用意する。 ・小さな観光が豊富にあることが大事。 ・宮戸八景や奥松島オルレなど密を避けた観光を中心に。 ・観光が，オルレなどの密を避けた屋外になりつつある。 <ul style="list-style-type: none"> ・石巻圏域は食で勝負すべき。 ・ミンク鯨などの食のPR。 ・広域的に食材などをテーマに同時イベント開催。 ・豊富な食のPRは重要。 ・QRコードなどを利用し，観光情報を提供。 ・「駅から観タクン」など既存の情報の整理・発信のほか，県の「みやぎ応援ポケモンのラプラス」の活用。 <ul style="list-style-type: none"> ・震災後に生まれた多くのつながりを生かすべき。 <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン体験の充実も観光の入り口になる。 <ul style="list-style-type: none"> ・三陸復興国立公園の看板が少ない。 ・観光情報等がほしい人に届くようにしなければならない。 <ul style="list-style-type: none"> ・県の観光は，松島，仙台，鳴子，蔵王が中心で沿岸部は少ない。 	<p>観光情報や魅力を発信し、如何に知名度の向上と来訪の喚起を図るか。</p> <p>地域資源を生かした人を引き付ける魅力的なオプションツアーを豊富に造成していくためにはどのような仕組みで、どのような施策が必要か。</p> <p>本県観光のゲートウェイである仙台や松島等の主要観光地からどのようにして石巻地域に人を呼び込むか。</p>	<p>オプションツアー実施</p> <p>情報発信・キャンペーンの実施</p> <p>ファンクラブ設立</p> <p>オンラインツアー</p> <p>Wi-Fi 設備の整理等</p> <p>主要観光地から促す情報発信</p>

